



和太鼓六友会の10周年記念演奏会

山内地域市民センター

あいの土山文化ホールで8月8日「和太鼓六友会」の10周年記念演奏会が開催されました。同会は園児から大人まで25名の会員で構成されています。毎週月曜日に練習を重ね、イベントにも多数参加されています。和太鼓の迫力あるサウンドは聞くものの心に響き、たいへん感動する演奏でした。今回の演奏会で、設立から現在まで代表者としてみんなを引っ張ってこられた服部喜久典さんが引退され、前川輝さんが新しく代表者になりました。心機一転された「和太鼓六友会」。これからますます活躍が期待されます。



チャレンジ100万歩運動

伴谷地域市民センター

最近、伴谷地域ではウォーキングをされている方を多く見かけるようになりました。この傾向は、ばんだに自治振興会健康福祉部会が、健康づくりのため「100万歩運動」事業を6月から開始されたこともきっかけとなっています。この取り組みは、参加申し込みをされた方に「貯蓄通帳」をお渡しし、毎日の歩いた歩数を記入していただきます。申し込み日から2月末までの間に100万歩をめざしてウォーキングをしていたら、達成された方に達成賞をお渡しするものです。すでに5名の達成者も出ました。まだまだ参加申し込み受付中です。



地域交流に二役

佐山地域市民センター

平成23年にFBC（フラワーボーコンクール）滋賀県春花壇コンクールで大賞にも選ばれた佐山小学校では、花づくりを通して自主性や責任感、根気、いのちを大切に育む心、美しいものに感動する豊かな心を育むことが伝統として受け継がれています。そんな佐山小学校から「花壇に植えた残りですが、市民センターにも飾って」とサルビアとマリーゴールドの苗をいただきました。佐山学区自治振興会の方とともにプランターに植えつけ、市民センターの前に飾っています。学校と地域の人々をつなぐ花になりました。



地域の絆を踊りの輪でつなごう

甲南第一地域市民センター

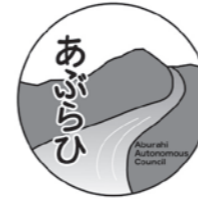
市指定文化財の六角地蔵堂がある寺庄では、「六角ふれあい夏まつり」が毎年8月の地蔵盆に行われています。25日は天候にも恵まれ、約1500名の人出で賑わいました。今年は、甲南第一自治振興会の呼びかけで、学区内約50名の方が江州音頭踊り込みの輪に加わり、お祭りを盛り上げました。模擬店では、行列のできる人気店もあり、ドリームくじの抽選が始まった8時過ぎには盛り上がりもピークに達しました。自治振興会のテントでは、ソフトクリームが販売され、自分たちの活動を皆さんに知ってもらおうと、風情ある竹製の団扇が手渡されました。

自治振興会の活動内容を紹介しています

油日自治振興会

これまで油日地域では、自治区での組織運営はしっかりしている一方、学区内での交流が活発ではありませんでした。

そこで、設立初年度から ①住民の交流を深め、連携を創出する ②自治区運営を後退させない ③地域づくりの積極的な広報の実施 ④将来の学区での取り組みの基礎づくりの4つの基本方針を掲げ、3つの専門部会が中心となって各事業に取り組んできました。



▲油日自治振興会のシンボルマーク



▲心肺蘇生法とAEDの使い方を学習

明るく快適、安全なまちをめざして
児童を巻き込んだ交通事故が今年、全国的に多発していることから、油日学区でも

「子どもの体と心の健康は食事から」をテーマに調理実習と交流会を開催し、親子18組44名が参加しました。子どもたちは「お母さんと一緒に嬉しかった」と話し、大人と子どもが一緒に調理をすることで、食の大切さ、一緒に作る楽しさを学ぶ機会となりました。また、油日小学校PTAと共催した救命講習会を実施し、参加者は、適切な判断が求められる緊急時の初期対応の大切さを学びました。

食育研修会・救命講習会を開催

児童の通学の安全に重点を置いた活動を始めました。「こども110ばんコーン」を整備するなど、子どもたちが安心して通学できる環境づくりに取り組んでいます。また、地域ごとの悩みや課題の解決にむけて「お困りごとアンケート」の実施を計画しています。学区内から集められた「お困りごと」を、今後の活動の課題として取り上げていきます。



▲「こども110ばんコーン」

「ふれあい・支えあい」を合言葉に地域の活性化を

当会は、「ふれあい・支えあい」を合言葉に地域が活性化する事業を展開しています。油日地域内の史跡などを見直すことで地域を深く知るとともに、ウォーキングをより楽しく取り組んでもらおうと「歴史ふれあい散策マップ」を作成しました。今年3月には、このマップを使ったウォーキング事業を開催し、61名の参加者が学区内を散策しました。さらに、今年度は油日駅改築10周年を記念し、このマップを活用したスタンプラリーを開催しています。

将来の地域づくりにむけて

各区との相互交流や地域連携を図ることで、少子高齢化による区活動の縮小・停滞の悩みを共有化し、例えば地域消防団員の相互融通制の実施など解決に向けて取り組んでいきます。また、地域活性化のため、地場産業といえるものづくり、食づくりを探し、故郷の歴史や観光を見直し、郷土のPRなど各種団体を核とした組織作りも視野に入れないが、元氣あふれる油日をめざします。



▲油日駅改築10周年を記念したスタンプラリー

「ふれあいスタンプラリー」

- 実施期間 / 11月30日(金)まで
- スタンプラリー用紙設置場所 / 油日駅・甲賀駅・油日地域市民センター
- 油日駅、甲賀駅をはじめ、油日神社や学区内のお寺など計12か所にスタンプが設置されています。全てのスタンプを集めた方には記念品(先着500名)を進呈します。